



テーマは

感謝

THANK



YOU!

オオスミに関わる人に
私たちの生きる地球に伝えたい

Greetings from the President

Family History

私のファミリーヒストリー

— 胸に刻む先祖への感謝の気持ち —

本誌をお手に取っていただき誠にありがとうございます。『O-Smile』は、私たち株式会社オオスミの仕事や、社員・メンバーたちの想いをのせたもので、“イヤブック”と呼んでいます。本来“イヤブック”は米国の学生が1年の思い出をまとめたブックの事を言いますが、私たちはこの1年間の活動を中心に、ホームページや、カタログ・パンフレットでは十分にお伝えし切れないホットな情報や内容を誌面に載せています。環境保全の観点から、「いまどき紙媒体で？」と思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、イヤブックは電気を使わずにいつでも見ていただくことができる“自称エコ”なブックです。

さて、今号は『感謝』というテーマにすると編集部から伝えられましたが、とても大きなテーマですので、何を書いたら良いか悩んでしまいました。もちろん常日頃からオオスミ社や私個人の周りにいらっしゃるたくさんの方への感謝や、この地球への感謝は忘れません。そこで、対象を絞り、私を産んで育ててくれたご先祖さまへの感謝を書かせていただくことにします。大変個人的な内容で申し訳ございませんが、ぜひお読みください。



左が祖父と祖母、右端が曾祖父乙吉

私の曾祖父(乙吉)は、香川県高松市の出身で兄弟の多い家族の家に産まれたそうです。長男ではないため家督を継ぐことができなかった曾祖父は、曾祖母(サイ)と共にまだ小さかった祖父(甫)の手を引いて新天地北海道を目指しました。北海道の荒れ地を開墾するため、わずかな土地を買って耕耘し、農家として家族を養ったと聞きました。

祖父は太平洋戦争末期に徴兵により軍隊に入隊しました。終戦後旧ソ連に抑留されたのですが、運よく無事に北海道に戻ることができました。その時、既に父(勝彦)は生まれておりました。明治から昭和にかけての激動の時期に大変な思いをしながらも家系を継いでいってくれたご先祖様たちに感謝です。



曾祖父乙吉

父が上京したのは東京の農業大学で“農業の勉強をするために”という名目だったらしいのですが、本心は“農業は絶対に継ぎたくない”という思いがあったと聞いたことがあります。北海道の農家は寒い冬に耐え、想像を絶するような開拓開墾だったらしく、それを間近に見ていた父が農家を継ぎたくないといった気持ちになるのは何となく分かります。

株式会社 オオスミ
代表取締役 大角 武志

やがて母(久子)と結婚し、姉と私が生まれました。ちょうどその頃に脱サラをして個人事業主として働き始め、その後1968年に、オオスミの基礎となる有限会社大角化学を創業しました。

今のオオスミがあるのも私があるのも、ご先祖様が苦労しながら、その開拓精神や運の良さを子孫に伝え、それらをありがたく享受しているからです。昔はよく親に叱られたり、逆らったり、反発的な態度をとってききましたが、親のありがたさ、ご先祖様のありがたさを胸に刻み込まなければいけないと、恥ずかしながらつい最近になってようやく分かってきたような気がしています。

個人的な話になってしまい恐縮ではありますが、テーマが「感謝」という事で、身近なところで、短く書いてみました。お読みいただき感謝しております。



4歳の誕生会を家族と共に



曾祖父乙吉 援農さん方と

Certificate of appreciation

努力と熱意への “感謝状”

現在私たちが働いている環境は、決して当たり前のものではありません。長い間オオスミのために尽力してきてくださった方々のおかげでもあります。

功績にありがとう

感謝状

あなたは永年にわたり
職務に精励され
株式会社オオスミの発展に
多大なる貢献をされました。
よってその功績を称え
感謝の意を表します。

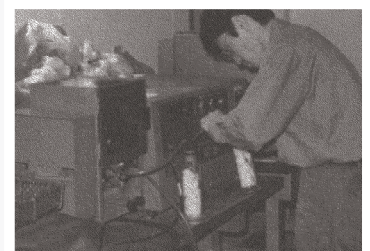


分析技術グループの
基礎を作り、発展に貢献
分析技術グループ 岩井 芳典 殿



1982年オオスミ14期生として入社。現在オオスミで行っている農業などの環境分析や土壌調査、アスベスト調査など多くの業務の立ち上げを実施し、グループ長として、オオスミの分析技術グループの基礎を作り、その発展に貢献してきました。

現在は材料解析などの分析だけでなく、「技術者として正しい技術を身に付けて、業務に取り組んでほしい」との思いで、若手社員への教育にも取り組んでいます。その環境分析についての深い知識から分析技術メンバーに日々頼りにされており、分析技術の精神的支柱として欠かせない存在です。



入社当時



その経験と人柄から今も頼りにされています。

COLUMN

食を通してみんなをハッピーに!

道志村ハッピープロジェクト



太田ハッピープランニングの太田です。
食を通してみんなをハッピーに!をコンセプトに山
～街～海を「食」で繋げる活動を行なっています。
今、私が一番力を入れているプロジェクトがありま
す。「道志村ハッピープロジェクト」と言います。

道志村ハッピープロジェクトの目的は2つ。
①道志村と横浜を食で繋ぎ村を活性化させ、街の
自給率を上げること
②将来を担う子ども達に豊かな食を伝えること
です。

食の循環で地域をつなぐ

道志村は横浜の水源地で人口1,600人弱。高齢
化、過疎化が急速に進んでいる村です。それに伴
い、遊休地や耕作放棄地がどんどん増えてきてい
ます。道志村ハッピープロジェクトでは、その遊休
地を使った野菜作りを行なっています。

横浜で出た食品残渣を堆肥にして野菜を育て、
出来た野菜を横浜で消費しています。食の循環で
す。野菜を朝収穫し、その日の午後に直接横浜へ
お届けしています。まずは野菜の美味しさを横浜
の方に知っていただきたいからです。

こどもから大人まで体験を通して、道志村を好き
になってもらったり、食べるってどういうことなの
かを感じてもらうのが目的です。



『感謝と誇り』を感じてほしい

今、この活動を通して感じていることがあります。
それは、本来あったはずの日本文化の在り方が希
薄になっているのではないかな?ということです。
「食」「家族」「自然」などに対する『感謝と誇り』とい
う心の在り方が薄れてしまっているように感じるの
です。

私は、道志村の皆さんが山や川を代々守り続け
ている姿、その恵みを大切に使う姿、そして家族み
んなで力を合わせて農業を営んでいる姿などを見
ることで、祖先への感謝と誇り、家族の絆、自然へ
の畏敬の念を学ばせてもらっています。

道志村と川で繋がる横浜の人が、このプロジェ
クトを通して、『感謝と誇り』を感じてくれたら嬉し
いです。

『感謝と誇り』が今の様々な社会課題を解決して
いく原動力になると思います。

いずれは、この活動が日本全国に広がるモデル
にしたいです。『感謝と誇り』が持てる豊かな国に
なるといいなと思っています。

道志村に来てね!

稲刈り体験
やってます!

太田 久士 (おた ひさし)
太田ハッピープランニング 代表

香川県出身。1999年創立の横浜ビール創業メン
バー。2008年代表取締役就任後、環境・地域活
性を軸に事業展開。2018年退社。2019年 太田
ハッピープランニング設立。
食を通した高価値作りを展開している。

HAPPY PROJECT



エコ活動の見本。
分析ひとすじ40年
分析技術グループ 三堀 利幸 殿



1984年オオスミ16期生として入社。
新卒として入社してから約40年間、分析
ひとすじで業務に取り組んでおり、先日
定年を迎えましたが、現在においても金
属分析を中心として現場の第一線で活
躍されています。



入社当時

通勤の際は、ホウキとチリトリを携え
て、会社の敷地内だけでなく周辺の清
掃に取り組んでおり、車から横断歩道に
ポイ捨てされたゴミも見逃さず即座に
回収している姿も見受けられています。
業務の内外に関わらずエコ活動に取り
組んでいるその姿は、オオスミ社員とし
ての見本ともいえる存在です。



率先して清掃をしてくださっています。



壁にぶつかりながらも
チャレンジ精神で挑戦
調査第三グループ 星 敦彦 殿



1983年オオスミ15期生として入社。
分析業務から始まり、その後公害や環境
調査に関わる業務に従事。現在のオオ
スミの核となっている調査グループの基
礎を作り上げてきました。自身がやりた
いことやその当時必要とされていた
ことなど様々な業務に挑戦。「食わず嫌
いはせずに色んなことにチャレンジして
きた」と語ります。



入社当時

「今も壁にぶつかりながらの日々。(現
在所属している)PCBチームから意識改
革をしていきたい」一来年勤続40年を
迎えますが、まだまだオオスミでサービ
ス・技術の改善に貢献したいという情熱
をお持ちです。



今も現場で活躍されています。

OSUMI's ECO ACTIVITIES WITH GRATITUDE TO THE EARTH

01

採れた野菜は
美味しくいただきます！



畑プロジェクト

会社近くの畑を借り、オオスミ畑として皆で楽しみながら様々な野菜を育てています！オオスミとして食について考える新たな機会を広げています。

03

夏の酷暑の中も
みんなで頑張っています！



目黒町公園美化活動

毎月第2週の1週間、本社近くの目黒町公園のゴミ拾いや草刈りを行っています。重労働ですが、きれいになった公園を眺めたときの達成感は素晴らしいです！

05

KAMA CLASS (カマクラス)

鎌倉で体を動かしながら楽しく学ぶKAMA CLASS (カマクラス)を開催しています。カマクラスとは海岸でプラスチックごみを拾い重さを競うゲームやワークショップを通じてエコやSDGsを学ぶ環境特化型研修です。



06



ビーチクリーン活動

公益社団法人かながわ海岸美化財団にオオスミとしてエントリーし、ビーチクリーン活動を行っています。

08



環境教育の出前授業

環境教育の一環として「学校でできる省エネ」に取り組んでいる横浜市内の小学校で、出前授業を実施しました。



環境絵画展

～私たちの未来の地球を守ろう～

小中学生を対象に未来の地球を守るための方法や未来の姿の絵画を募集し、受賞作品を外周のフェンスに展示しました。

07



02 プロボノ活動

環境分析の専門技術で社会に貢献するプロボノ活動（専門性を活かしたボランティア活動）で、濱橋会主催の「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」に参加しています。



川の水中に小さい
プラスチックがたくさん！



09



「食」のイベント開催

「食」と「環境」をテーマにした講演、映画上映などのイベントを2022年9月17日に開催しました。



CO₂削減 (カーボンニュートラル)

本社屋上に設置している太陽光発電と秋田県八峰町峰浜風力発電所からの電力を使用しています。2021年には、再生可能エネルギー電力の利用に積極的に取り組んでいる事業者として神奈川県に認定されました。これらの取り組みに加えて、省エネ業務でのお客様への提案などでCO₂削減に貢献しています！



環境ウェビナー

環境の専門家である技術者が、環境関連分野の知識習得や技術向上のために、外部向けセミナー・講習会を実施しています。



ゼロクロニクル

日本の脱プラとゼロウェイストに貢献したいとの思いで夏至と冬至の年2回環境マガジンを発行しています。

13



12 巣箱の設置

本社付近に生息する野鳥のため敷地内の木に巣箱を設置。春になるとシジュウカラが子作りにやってきます！



お気に入りのうちだっぴ！

LIFE EDUCATIONAL

16



瀬谷西高校 地域貢献活動

近隣の高校で、川プロジェクトなどSDGsを軸とした地域貢献活動を実施しています。

17

「オオスミの樹」を植える活動

社員の家で眠っているまだ使用できる不用品を売ったりリサイクル収益で、オオスミの樹 (PresentTree: 山梨県笛吹市でNPO法人が植樹・保管管理) を植え、森林再生と地域振興につなげる活動のお手伝いをしています。



19

脱プラスチック

脱ペットボトルの一環として、缶飲料のみの自動販売機を設置、水道直結ウォーターサーバーの導入やロゴ付ステンレスボトルを活用しています。他にもプラスチック製クリアファイルの削減など積極的に取り組んでいます。



地球に感謝 を込めて オオスミ感謝 のカタチ

オオスミは、地球のドクター。

100年後の未来に向けて

「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」

これが私たちの使命です！

大きくなーれ！
＼(^o^)／



15

オオスミアquarium

地域の自然を知っていただきたいと、近隣の河川境川の生態を再現した、アクアリウムを受付近くに設置しています。



LIFE BELOW WATER

綺麗なお花が
咲きますように



オオスミ 感謝祭

オオスミからの感謝の気持ちを
ストーリーとプレゼントで大放し!



探しあててくれて
ありがとう!

専務取締役 鈴木典子



1992年に元の場所から6キロほど離れた場所に社屋を移転し、その時に社名も大角化学からオオスミに変更しました。その後も「大角化学さんでしょ?仕事お願いしますよ」という電話をくださるお客様が月に数件いらっしゃいました。移転して1年ほどは新しい番号を通知するようにしていましたが、5年、中には10年ほどたってからご連絡をいただいたケースもあります。

まだ今ほどネット検索の時代でもなかった中、色々な手段を使ってわざわざ調べてくださって、発注してくださったお客様。当社のことを覚えていてくださって、探しあててくださって本当にありがとうございました!

THANK YOU STORY



巷で噂の
サプライズ花火に遭遇!

調査第三グループ 眞田 響子

友人の結婚式帰り、タクシー車内から見えた大輪の花火。久々に集まった友人たちと素敵な時間を過ごすことが出来ました。見やすい場所で一時停止してくれた運転手さん、そして感動を届けてくれた花火師さんに感謝です!



夏の思い出

分析技術グループ 日野 愛実

5年前の夏...厳しい暑さの日でした。お馴染みの現場である動物園と言えど、さすがにフラフラに…。すると、担当の方が、涼しい休憩所に案内してくれた上、動物を見せてくださったんです!心遣いに変え感謝しました!あの時はありがとうございました!



ありがとう、我が子達!!

営業グループ 村井 謙二

最近子供が成長していく過程で、色々なコミュニティに参加することが多くなりました。

一番上の子が小学生になってから、小学校のバレーボールコミュニティに参加。少年野球に入ったのを機に、軟式少年野球の審判資格を取得したので、審判団のコミュニティにも参加しています。授業参観では、同学年の親御様と話をすることができ、楽しい時間を過ごせました。

このコミュニティの広がりには全てにおいて子供が関係しています。様々な方と知り合えた事に、そして今も元気に成長してくれている子どもたちに感謝です。



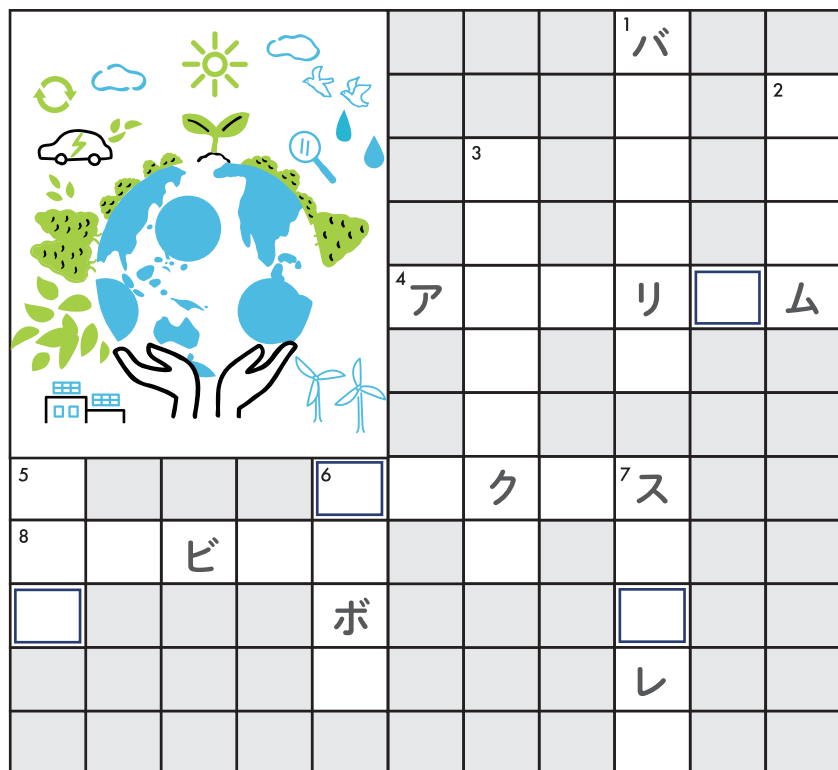
THANK YOU PUZZLE

ク ロ ス ワ ー ド

イヤーブック第11号を読んでいただいた方ならわかる?!

クロスワードを解いてキーワードを揃えよう!

応募者
プレゼント企画



横のヒント

- 境川の生態を再現し、受付近くに設置されている水槽はオオスミ●●●●●●●●
- 「楽しく学ぶ」をコンセプトに鎌倉で開催している環境特化型研修
- 環境関連分野の知識習得や技術向上のため実施。アーカイブ配信も始めます

縦のヒント

- 本社新棟は車いすの方もラボ見学ができるよう、こだわりました
- お正月のことをテトといい、友人への感謝をCam onと伝える国
- 夏至と冬至の年2回発行している環境マガジン
- 分析技術グループ三堀さんが通勤のときに持っているのは●●●とチリトリ
- 今世間でも重要視されている●●●●ニュートラル。オオスミも貢献しています
- 脱プラのためにウォーターサーバーや●●●●●●●●ボトルを活用しています

応募用キーワードは



オオスミの
オリジナルグッズが

合計16名様に当たる!!



ご応募お待ちしております!!

台湾エコバック 5名様

オオスミオリジナルネクタイ 1名様

ロゴ入りステンレスボトル 5名様

エコプロジェクト風呂敷 5名様

応募方法はコチラ



こちらのQRコードから
ご応募をお願いします。

- ・クロスワードの答え
- ・会社名/お名前
- ・ご連絡先メールアドレス

応募期限

2023年3月31日まで

ベトナム流感謝の伝え方

文化の違い：ベトナムではあまり感謝の言葉を聞かないって本当ですか？

日常生活で我々は感謝を示している人々をあまり見かけません。それは感謝していないということではなく“ありがとう”と言うことに慣れていないのです。ベトナムの文化は“助け合い”の文化で殆どのベトナム人はこの文化で育ってきました。だから助けられてもそれはごく自然なことであって、特別に感謝の言葉を示さないのです。

でも、正直言ってベトナム人はもっと“ありがとう”を言う必要があると思います。感謝の気持ちを言葉だけでなくジェスチャーでもいいですし、何らかの行動で伝えるべきだと思います。感謝の気持ちが誠実な心からのものである限り、それは本当に価値のあるものですから。



Osumi Vietnam
Energy Engineer
Nguyen Quyet Thang



ことわざを通じて伝える感謝

ベトナムでは昔から祖父母や両親は、子供や孫に俗曲やことわざを通じ感謝を教えてきました。ですからベトナム人は「父の仁徳は山より高く、母の愛情は海より深く」「食べる時は成長に感謝し」「水を飲むときはその源に感謝し」といった具合にことわざを直ぐに思い出します。



ベトナムの人たちは感謝するという文化に高い誇りをもっています。ベトナムでは1月に旧正月(テト)を祝いますが、このテト休暇には故郷を離れて働く出稼ぎの人達は、家族と楽しい休暇を過ごし家族に感謝するために故郷に帰ります。1年間家族を思い家族に感謝し一生懸命に働き、お金を貯め贈り物を用意し故郷に帰ります。これらは家族への感謝の表れで何よりも大切なものです。



ベトナム語 感謝の表現

“Cam on” カム オン
友達への感謝などに使われる表現

“khách sáo quá” ハイック サオ コアー
「何故あなたはそんなに親切なの」を意味し親族などに感謝を伝えるときの表現



“ありがとう”の言葉をあまり聞かない背景には二つあると思います。相互信頼にある同士は家族・兄弟と同じであり、助け合うのは当然で特に感謝を伝える必要性を感じていないこと。そしてまだ途上国であり人々はシャイで警戒心が強く閉鎖性もあると思います。

ベトナムの方々と信頼関係を築くには、ベトナムの国、地域、人々に貢献する気持ちで地道に行動していくことが大切だと常々感じます。

Osumi Vietnam 社長 米田 善治

新人社員

感謝リレー

2022年オオスミには新入社員が5名入社してくれました。新入社員の皆さんを少しでも知ってもらうために、今回は新入社員同士の他己紹介を行います。



古澤 董さん

調査第二グループ

古澤さんから陳さんへ

陳さんは一つ一つの仕事に対して丁寧に取り組んでおり、疑問に思ったことを積極的に解決する姿勢がとても印象的です。そんな陳さんの頑張る姿に私自身いつも刺激を受けています。また同じグループで仕事を頑張る同期の存在は心強く、感謝しています。これから同期同士で切磋琢磨して成長していけたら良いと思います。



陳 晨曦さん

調査第二グループ

陳さんから高橋さんへ

高橋さんは議論や発表の機会に一番に意見を出し、自分たちの緊張を解いてくれ、意見を言いやすい環境を作ってくれる頼もしい存在でとても感謝しています。仕事でもプライベートもいつもマイバッグを持っており、分別も細かくされていて環境意識がとても高く見習うべきところが多い存在です。



高橋 直希さん

調査第三グループ

高橋さんから川畑さんへ

川畑さんは周囲に気を配るだけでなく、一緒にって場を盛り上げてくれる人です。私がそれを実感した出来事は、サプライズで誕生日プレゼントをくれたことです。誕生日は会話の中で軽く話したただけだったこともあり嬉しく感じました。その他にも重要な連絡があったときは共有し、確認するなど頼りになる存在です。



長田 彩沙さん

分析技術グループ

長田さんから古澤さんへ

古澤さんは明るい性格で常によく周りを見ており素敵な笑顔で接してくれるため、周りの空気も明るくなるのを感じます。そんな古澤さんの姿に私自身もいつも元気もらっていてとても感謝しています。仕事も真面目に丁寧にに取り組んでおり、メモを取り、質問もしっかりとしているため、学ぶところが多いです。



川畑 智尋さん

調査第一グループ

川畑さんから長田さんへ

普段は冷静で大人しい印象のある長田さんですが、言葉や行動がおもしろい一面もあります。同期と一緒に居る際にも、話題を提供してくれたり、不意に面白い部分を見せて場を和ませてください。周りに目を配りつつ、その場を和ませることで、私を含め他の人も話しやすい環境を作ってくれているため、とても感謝しています。

TOPICS オオスミトピックス

2022年11月上旬完成！
新社屋完成にあたって
尽力してくれた3人に話を聞きました

新しいラボの創造

分析技術グループ
松川 晋弥

新棟に実験室を作るにあたり、プロジェクトの途中からですが、大きく関わらせてもらえることになりました。メンバーに加わった時点で図面は整い、実験室内の配置も大体決まっており、あとは微調整を行っていけばよいか〜ぐらいに考えておりましたが、実際には建物を作ることと並行して実験室を作り上げていくという事、さらには今現在分析している業務をいかに中断せずに行っていくかという事に、頭をひねる毎日でした。

たくさんの方の協力を頂き、何とか完成にこぎ着けた新棟の姿に、改めてご協力頂いた皆様への感謝しかありません。

新しい経験

調査第二グループ
嶋田 憲幸

新棟の工事全般を担当しており、無事故無災害で完成させることを目標にしてきました。

入社と同時に工事開始後にメンバーに加わり、工事中にも新たに設計が追加になったり、想定外の既存棟側への工事の発生や、ゼネコンへの一括発注でないことから、複数社への個別発注になった部分もあり、工事管理、監督することにも日々苦労しました。

これまで電気・制御系を専門に仕事をしてきたことから、給排水、空調の配管工事などは経験がなかったことも苦労の一因ですが、新しい経験が出来たことに感謝しております。



社員と環境に感謝して

調査第二グループ
飯島 政明

既存棟が隣接している中で、新棟の建設を事故がなく日程通りに完成できたのは、工事メーカーの徹底した安全管理と、弊社の関係部署の方々が屋外に設置している物置などを、工事の施工状況に応じてレスポンス良く対応してくださったことが大きな要因です。工事中に機材倉庫内の機材を外部に借用した倉庫に移動する際は、真夏の暑い中、全員総出で借用した倉庫に機材を運搬したことも、自社愛が強い社員達がいるからこそ。ただただオオスミ社員には感謝しかありません。

新棟には「地球への感謝」も込めて、LED照明や照明消し忘れ防止の人感センサー取付、排気量に合わせ給気モーターのインバーター化、更に電気使用量の見える化で、各階に電力測定器設置など、環境に配慮した仕様も多く盛り込んでおります。

建築・給排水・給排水などにも二次メーカーが多数関わっており、新棟が構想通りにでき上りました。多くの人々が関わってようやく完成した新棟に、感謝の気持ちを持って業務を進めていきたいと思っています。

NEWS オオスミニュース

環境ウェビナー動画配信
サービス開始！

受講していただいた方も多くいらっしゃると思いますが、オオスミでは毎月「環境 Webinar」を開催しています。2020年6月に、コロナ禍でもできる顧客サービスとして試しに始めたオンラインセミナーですが、2022年10月時点で、開催32回、延べ2,611名の方々にご参加いただくまでに成長しました。

毎月継続して参加して下さる方も多いのですが、中には「当日は都合がつかないで後日配信して欲しい」というリクエストや、参加者アンケートでは「もう一度ゆっくり見返したい」「社内教育に活用したい」といったお声を多くいただいたことから、新たにウェビナー動画配信サービスを開始することになりました。

本サービスをご利用いただくことで、シリーズ開催している「事業所の環境法令対策（省エネ法、水質汚濁防止法、騒音・振動規制法、PRTR制度など）」や「建設工事に伴う主な環境調査（土壌汚染、PCB、アスベスト、建設発生土、騒音振動、シックハウス）」について、体系的に学ぶことができます。年間フルパック利用者には、ライブ開催する環境 Webinar の事前資料配布特典付！スキルアップや社内教育用にぜひご検討ください。ご利用お待ちしております。

環境ウェビナー動画配信サービス

期間 2023年1月～12月末まで

料金 全講座132,000円(税込) ※初年度33,000円(税込)
単品19,800円(税込)/本 ※初年度5,500円(税込)

省エネしていないと
商談が減る時代の到来。

エコ意識の高低差が
企業の業績や採用に響く今の時代。

ならば、1日も早く会社としてのエコへのシフト。

早いほど企業価値はグンと高まり、
世界に羽ばたくチャンスが広がります。

そう、地球のためだけじゃないのです。

これは自分たちの生き残りもかかったシフトです。

環境調査会社のオオスミのECOシフト。>>>

善は急げ。まずは省エネ診断を。



私たち「地球のドクター」の仕事

企画提案・セミナー・コンサル

調査・測定・分析

対策・工事・販売

A 環境保全事業	水、土壌、大気、騒音・振動、アスベスト、PCB、マイクロプラスチック、環境法令対策支援 など	オンラインLABO 見学ムービー 
B 労働安全衛生型環境事業	作業環境測定、個人暴露測定など	
C エネルギーソリューション	脱炭素関連事業、省エネ診断 など	
D 製品・材料試験事業	材料・異物分析、受託・研究、ゆあらば、こらぼなど	
E 環境関連商品等販売事業	化学工業薬品、環境関連商品、省エネ対策商品など	

すべての事業分野における膨大なソリューション。これはオオスミが培ってきた強みです。

株式会社オオスミ

本社
〒246-0008 横浜市瀬谷区五貫目町20-17
TEL 045-924-1050

東京支店
〒101-0064 千代田区神田猿楽町2-1-14 A&Xビル 5F
TEL 03-3219-5021

2021～2022年認証取得・更新



編集後記

今回「感謝」をテーマとしてイヤブックを作成しました。感謝のカたちは一つではなく、様々な方法があることに改めて気づくことができました。これからも私達なりの方法で、感謝を伝えていきたいと思っています。本誌を通してオオスミからの様々な感謝を感じていただければ幸いです。

(編集委員一同)

？ オースマイルって？

O-smile は造語ですが、分解すると『O』と『smile』に分けられます。この『O』は株式会社オオスミの頭文字。『smile』は字のごとく笑顔です。Oのsmile、つまり私たちオオスミで働く人間は、常に心に笑顔を持っていたいと願う心からこのような名前にしました。

